

図書館だより 特別号

向陽高校図書館 発行 令和5月11日

★先生方のおすすめ本＜第2弾＞★

読書をするには本当にいい季節！！

向陽高校の先生がズバリ！とオススメする本を読んでみませんか？

あなたの心の友になりたいといろんな本が待っています！！

(新) 内村 夏樹 先生 (教育企画部・国語科)

『スマホ脳』 アンデシュ・ハンセン著 (久山葉子 [訳]) (新潮社)

勉強しているとき、友達と会っているとき、気が付くとついスマホに手が伸びてしまっている。

そんな経験はありませんか？

「スマホ脳」から抜け出せなくなる前に、一度スマホを置いて、ぜひ本を手にとってみてください。



小寺 竜典 先生 (進路指導部・地歴公民科)

『雪ぐ人 「冤罪弁護士」今村核の挑戦』 佐々木健一 (新潮社)

日本の刑事裁判の有罪率は99.9%。これすなわち、犯罪者と疑われて裁判にかけられたら、ほぼ例外なく有罪になるということ。警察・検察に間違いは絶対にあり得ないという前提、それを裁判所も追認している現状。当然、冤罪(えんざい。無実の罪)発生の可能性は常に存在する。このいびつな司法制度に異を唱え、無実の人々に寄り添うことに自らの生のすべてを捧げている人— 実在の弁護士・今村核。放火の罪を着せられた被告のために大規模な火災実験を行い、痴漢事件では零コンマの単位で車載カメラの画像を鑑定し、小さな可能性に懸ける。変人と呼ばれ、何度も組織や制度の巨大な壁に絶望を味わいつつも、異例の数の無罪判決を執念で積み上げ続ける孤高の弁護士に密着した鮮烈なノンフィクション。その生き様に感銘を受けると同時に、冤罪はふとしたきっかけで誰にでも降りかかりうるという現実恐怖を感じる。



が付いている本は、現在向陽高校図書館にある本です！ ない本は近日中に入ります！

(新) 松本 陽 先生 (教務部・英語科)

『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』

七月 隆文 著 (宝島社文庫)

パラレルワールド恋愛小説です。小松菜奈と福士蒼汰が主演で映画化もされています。京都が舞台なので是非ご一読ください！



(新) 富田 滋子 先生 (教務部・家庭科)

『Go to Togo 一着の服を旅してつくる』 中須 俊治 著 (烽火書房)

銀行マンを辞めて、みんなが笑って過ごせる世界をつくると、かつてアフリカトーゴに留学した時の約束を果たすべく、トーゴ共和国で日本人初の法人を設立した若きアフリカ起業家の奮闘記。読めばエネルギーがもらえる一冊です。



吉田 卓史 先生 (進路指導部・英語科)

『女の子はどう生きるか 教えて、上野先生！』

上野 千鶴子 著 (岩波書店)

フェミニズムを知らないということは世界の半分が見えていないということです。タイトルは「女の子は…」となっていますが、男子も読むべき本です。



木村 重紀 先生 (図書部・国語科)

『愛なき世界』 三浦 しをん 著 (中央公論社)

タイトルにだまされてはいけないよ！植物を研究する女子に恋をした超真っすぐで天然なイッパン男子の物語なのだから、本当はあふれるほど愛が詰まったお話。男の子は、好きになった女の子のことをすごく理解しようとするのだけど、何せ相手は植物を愛する女性。愛の対象が人じゃないから男の子は悪戦苦闘…。読み進めるうちに思うのは、これって本当は誰にもあてはまる心の世界なのだなということ。素敵な装丁と同じくらいに。